車マルチメディアプレイヤー

# 取扱説明書

DVD/ラジオ/ISDB-T/GPS/ブルートゥース

**JT-8174N**

* TFT液晶ディスプレイ
* タッチスクリーン制御
* MP4(AVI/DIVX/5.X)およびDVD/ VCD/ SVCD/と互換性をもつ。
  WMA/MP3/JPEGディスク
* 後方確認用CCDビデオ出力
* FM/AMラジオ、30のプリセット局
* Bluetooth機能をサポート
* タッチスクリーンは、自動的に調整可能である。
* ISDB-T TV受信機
* GPSの外箱

## カタログ

安全性 ---- 3
注意 ---- 4
1. フロント・パネルファンクション説明書 ---- 5
2. リモコン機能 ---- 8
3. メインメニューのタッチ操作 ---- 10
4. 機能の操作を設定する ---- 11
5. 無線機能の説明 ---- 14
6. ディスクのタッチ操作---- 15
7. DVD機能の操作 ---- 16
8. VCD/MPEG-4 機能の操作 ---- 19
9. CD機能の操作 ---- 22
10. MP3/USB/SDカード操作 ---- 24
11. ナビゲーション機能の操作 ---- 25
12. Bluetooth機能の操作 ---- 26
13. ブルートゥースのステレオ機能の操作---- 28
14. アイポッドの機能操作 ---- 28
15. ビデオプレーヤー機能の操作---- 29
16. ミュージックプレーヤー機能の操作 ---- 29
17. 電子書籍機能の操作 ---- 30
18. ピクチャブラウジング機能の操作 ---- 30
19.車ベースデジタルテレビ ---- 31
20. 他のモード ---- 34
21. トラブルシューティング ---- 35



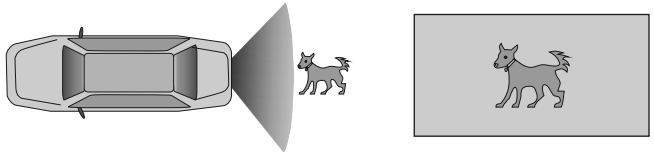


## 21. トラブルシューティング

| 問題 | 原因 | ソリューション |
|---|---|---|
| 電源が入らない。 | 電源ヒューズが飛んだかどうかチェックする。 | 古いものと同じヒューズに変える。 |
| | いくつかの要因がMPUの誤操作の原因である。 | 次に、パネルにあるリセットボタンをペン先で押して電源を入れてください。 |
| イグニッションスイッチを切った後、すべての設定情報が失われる。 | イグニッション線ACCと12ボルト一定のワイヤの間の接続不良。 | 周囲の配線を変更する。 |
| リモート・コントロール、機能なし。 | バッテリからの十分な電源がない。 | リモコンのバッテリを変えてください。 |
| ラジオの性能不良。 | アンテナの不適切な長さ、アンテナアースの接続不良。 | アンテナが接続されているか、接続不良かどうかチェックしてください。 |
| ディスクをロードすることができない。 | 内部にディスクがある。 | 次に、ディスクをイジェクトし、新しいディスクを中へ入れてください。 |
| ディスクを再生できない。 | ディスクに傷がついている。 | 新しいディスクに変えてください。 |
| | ユニットの中へ、ディスクの裏面を入れてください。 | 印面を備えたディスクを上にして入れてください。 |
| | レンズに汚れがある。 | レンズクリーンディスクでレンズの汚れを落としてください。 |
| 言語/字幕を切り替えることができない。 | ディスクには、1つの言語/字幕だけがある。 | ディスクがマルチ言語/字幕ではない場合、言語/字幕を切り換えることができない。 |
| 画像がない。 | ユニットとTV間のビデオラインが正しく接続されていない。 | 線をもう1度接続してください。 |

## 20. 他のモード

リアビューシステム(バックミラー)
車にリバースカメラがある場合、装置のリバースコントロールケーブルの「BACK」をカメラのビデオ出力端子に接続してください。バックすると、装置がバックミラー・モードに自動的に変わる(以下の図に示すとおり)。



バックしているバックミラーのイメージ。

警告:リアビューシステムに完全に依存しないでください。リアビューシステムは駐車を支援するのみなので、運転中は、自分の目で安全を確かめてください。画像および距離範囲が限定されるので、完全にリアビューシステムに依存すると、事故につながることがある。





## 重要な情報

安全性
使用前に関連する説明をすべてお読みください。取扱説明書に従わずに起きた損害に関しては、保証いたしません。
運転中の安全を確保し、交通規則違反を避けるために、運転中は番組を見る、またはこの装置を操作することはおやめください。
取扱説明書に従わずにコントロールを使用して調整または操作すると、危険なレーザ発光またはその他の安全性を欠く操作を引き起こすことになる。ヒューズを不適切に使用すると、損傷または火災の原因となる。ヒューズの交換が必要な場合、専門家にご相談ください。ショートを避けるために、装置を雨にさらさないでください。この装置の通風スロットまたは他のスロットに物を差し込まないでください。装置のスイッチを入れる時、可視・不可視のレーザー発光があるので、レーザー光を凝視しないようにしてください。スクリーンに気をつけてください。鋭利な物を使用してスクリーンに接触、スクリーンを押圧、摩擦、または強打しないでください。ディスクに、ベンゼン、希釈剤、市販の洗剤、静電気除去スプレーを使用しないでください。装置は柔らかい濡れた布で掃除してください。アルコール、化学薬品または家庭用洗剤を使用してこの装置を掃除しないでください。自分でこの装置を開けないでください。
メンテナンスにはサービスセンターをご利用ください。エンジンを使用していない場合、カーオーディオを長時間使用しないでください。使用すると電池を消耗します。

製品の導入
自動車インフォテインメントシステムを使用すると、ナビゲーションシステムによって走るルートを速く見つけることができるだけでなく、以下のメディアまたは装置のオーディオ/ビデオ/JPEGピクチャを楽しむことができる。
DVD, VCDまたはCD
- USB
- SD/TFカード
- 周辺機器
- FMまたはAM(MW)ラジオ
- ブルートゥースからの周波数

さらに、ブルートゥースをサポートして電話をかける、または受信する装置を使用することもできる。

説明
このインタフェースでは、 キーにタッチするとメインインターフェイスに戻り、タッチ キーにタッチすると前のインタフェースに戻る。

## 注意

●このユニットは、以下のディスクを再生できる:

| モード | 内容 | ディスクサイズ |
|---|---|---|
| DVD | 音, 画像 | 12CM |
| VCD | 音, 画像 | 12CM |
| Mp3 | 音のみ | 12CM |
| CD | 音のみ | 12CM |

注意：1. このユニットは、MP4/DVD/VCD1.0/2.0/3.0 バージョン、DVD、CD-R、CD-RW、MP3、WMA(JPEG)と互換性がある。
2. DVD、VCD、MP3、CD ディスクを再生すると、ディスプレイがディスクを自動認識し、対応する指示を表示する。がディスプレイに現われる場合、その機能がないことを意味する。他の機能を選んでください。
操作の詳細については、他の関連の取扱説明書を参照してください。

- ユニットを変えようとすると、事故につながる可能性がある。
- でこぼこ道を走行中にディスクを再生すると、レーザーの故障を招く。規格外のディスクまたは不良ディスクを再生すると、レーザーの故障を招く。
- 自動車の内部環境が良好でなく汚れが多い場合、適宜レーザー洗剤によってレーザーを掃除してください。
- ひどく熱いまたは寒い環境で作業しないでください。車内の温度は－20℃から60℃にしてください。
- 操作の間、[手] が液晶に表示される場合、ユニットはその機能をサポートしておらず、操作は無効であること を意味する。
- ユニットがなんらかの異常を示す場合、この取扱説明書のトラブルシューティングを参照してください。解決策が見つからない場合、RESETを押して初期状態に戻してください。





## 3. 情報表示

ホームページメニュー（図2）の [目] をタッチしてテレビ情報表示インターフェイス（図3）にする。

図3

注記:非常ブロードキャスト機能は、現在中国ではサポートされない。

1) 電子化サービスガイド
図3の（電子サービスガイド）をクリックし、[✓] をクリックして確定すると、各局のプログラム・ログが表示される（図3-1.1）。

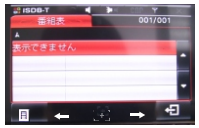


図3-1.1

[▲][▼] をクリックすると、プログラム・ログが上下にスクロールする。
[◀][▶]をクリックすると、前の局および次の局を表示する。
[⏎] をクリックすると、（情報）メニュー（図3）に戻る。

2) 言語/輝度セットアップ
図3の（セットアップ）をクリックし、[✓] をクリックして確定すると、設定メニューになる（図3-2.1）。設定メニュー画面で以下のパラメータを設定できる。

言語　　明るさ　　工場出荷時設定の復元

[◀][▶] をクリックすると、言語、明るさ、工場出荷時設定の復元の間でモードが切り替わる。

図3-2.1

[⏎] をクリックすると、（情報）メニュー（図3）に戻る。

### ▶ 言語設定

（セットアップ）インターフェース（図3-2.1）で [◀][▶] をクリックし、言語設定インターフェース（図3-2.2）に切り替える。

図3-2.2

[▲][▼] をクリックすると、（中国語）と（英語）の切り替えができる。
[✓] をクリックして設定を保存する。
[◀][▶] をクリックすると、（情報）メニューに戻る。

### ▶ 輝度セットアップ

（セットアップ）インタフェース（図3-2.1）の [⏎] をクリックし、輝度セットアップインタフェース（図3-2.3）に切り替える。

図3-2.3

[▲][▼] をクリックすると輝度値の調整ができ、
[✓] をクリックして設定を保存する。
[⏎] をクリックすると（情報）メニューに戻る。

### ▶ 出荷時設定の復元

セットアップ）画面（図3-2.1）の [▶][◀] をクリックし、出荷時設定の復元（図3-2.4）に切り替えること

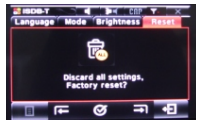


図3-2.4

出荷時設定の復元をする場合は、
[⏎] をクリックして確定してください。
[✓] をクリックすると、（情報）メニューに戻ることができます。

## 1. 放送局の検索

1) 自動検索
デジタルTV機能を使用する前に、まず局の検索が必要となる場合がある。

図1-1.1

フルスクリーン再生の状態（図1-1.1）で、 をタッチして検索インタフェース（図1-1.2）にする。

図1-1.2

探索インターフェースで（自動探索）を選択し、 をタッチして確定すると、システムが自動的にチャンネルを探索する（図1-1.3）。

図1-1.3

インタフェース（図1-1.3）の をタッチすると、検索が中断する。検索が完了すると、システムが自動的にプログラムを再生する。 をタッチすると、フルスクリーン再生モードに戻る。

2) 手動選択
フルスクリーン再生（図1-1.1）の状態で をタッチし、検索インタフェース（図1-2.1）にする。

図1-2.1

検索インタフェースで（周波数選択）を選び、 をタッチして確定する。該当するチャンネルを選択し、 をタッチして確定する。すると、システムは該当するチャンネルを再生する。（図1-2. 2）. をタッチすると、フルスクリーン再生モードに戻る。

図1-2. 2

## 2. メニュー操作

ホスト・コントロール・メイン・メニューで（TV）アイコンをクリックし、デジタルテレビモードにする。

注記：PIPインタフェースが表示される場合、（拡大）アイコンをクリックすると、TVメインメニューを表示できる。

TVモードを終了したい場合は、画面右上の部分を直接タッチする。

図2

Tvフルスクリーン再生モードで画面の中央上部をタッチすると、機能メニュー（図2）を表示できる。

1) 局を切り替える。
図2のインタフェースで をタッチすると前の局にアクセスし、 をタッチすると次の局へアクセスする。.

2) 音量調節
フルスクリーンの状態で をクリックすると、音量コントロール・ボタンを表示することができる。音量は(+/−)ボタンをクリックして調節する。.

注記：音量調節は、全画面表示の状態でのみ可能

3) 局の検索

注記：
詳細機能については、 1 の局の検索を参照のこと。

4) ラジオ・モード切り替え&プレイバックホームページのメニューの をクリックし、ラジオ・モード再生インタフェース（図2-4.1）にする。.

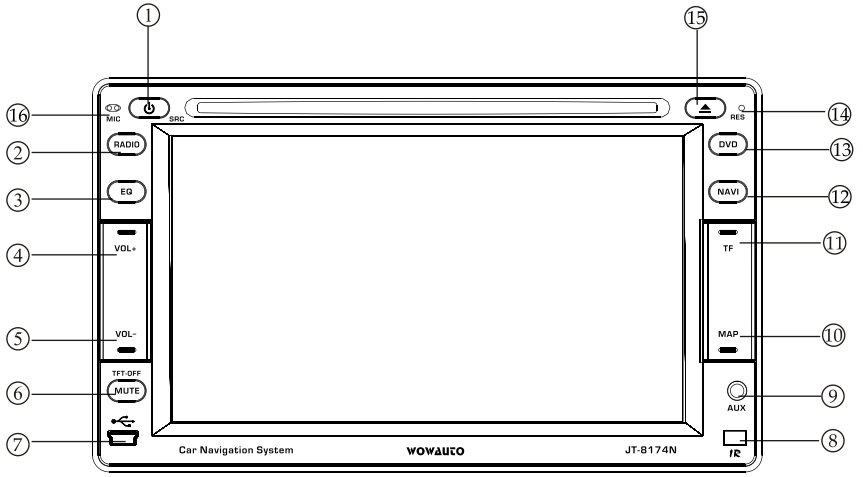
図2-4.1

 をクリックすると、番組リストを上下にスクロールすることができる。.
 をクリックすると、選択した局を再生できる。
 をクリックすると、テレビ放送、ラジオ放送およびデータ放送の間でモードが切り替わる。.
 をクリックすると、全画面表示で再生される。





## 1. フロント・パネルファンクション説明書




① ソースボタン
② ラジオボタン
③ EQボタン
④ VOL+ボタン
⑤ 音量ボタン
⑥ ミュート/TFT—OFFボタン
⑦ ミニUSBポート
⑧ リモコン受光部
⑨ AUX　IN(オーディオ入力ジャック)
⑩ MAPスロット
⑪ TFスロット
⑫ NAVIボタン
⑬ DVDボタン
⑭ リセットボタン
⑮ ディスクボタン
⑯ MIC入力

1. SOURCEボタン
動力を供給し続けるためにこのボタンを軽く押すと電源が入り、長押しすると電源が切れる。
通常の状態では、SOURCEボタンを押すとメインメニューに戻ることができる。

2. ラジオボタン
任意のモードでこのボタンを押すと、ラジオモードにアクセスできる。

3. EQボタン
このボタンを軽く押すと、プリセットイコライザーの再生モードを選択できる:
FLAT → ROCK → CLASS → POP。

4. VOL+ ボタン
このボタンを押すと音量が上がる。

5. VOL− ボタン
このボタンを押すと音量が下がる。

6. ミュート/TFT—OFFボタン
このボタンを押すとサウンド出力が止まり、このボタンを再度押すとサウンド出力を再開する。
このボタンを長押しすると、TFT LCDディスプレイがオン/オフする。

7. ミニUSBポート
音声ドキュメントおよび映像ドキュメントは、標準の高速USBポートのミニUSBポートで読み込むことができる。

8. リモコン受光部
リモコンの赤外線信号を受信できる。

9. AUX IN (オーディオ入力ジャック)
外部接続のオーディオ入力。

10. MAPスロット
マップカードの差込口にマップカードを差し込むとガイダンスデータを読み取ることができる。

11. TFスロット。
これは、高速伝送インターフェースであり、mp3またはMP4形式の大容量データを読み取ることができる。





## 19.車ベースデジタルテレビ

説明書


1. 放送局を検索する 32
1) 自動検索 32
2) 手動選択 32

2. メニュー操作 32
1) 局を切り替える 32
2) 音量調整 32
3) 放送局を検索する 32
4) ラジオのモード切り替え/再生 32

3. 情報表示 33
1. 電子化サービスガイド 33
2. 言語/輝度セットアップ 33
言語設定 33
輝度セットアップ 33
出荷時設定の復元 33
出荷時設定の復元 33

## 17. 電子書籍機能の操作

メイン・インターフェースで にタッチすると、右図に示すeブックインターフェースにアクセスできる:

フォルダーを開く。

クリア。

ページスキップ。

このボタンにタッチすると、テンキーが出てくる。確認のために ✓ を選択してください。入力を誤った場合、 ← をクリックして削除してください。

前のページ。

次ページ。

スクリーンのe-ブックの下部にタッチしてもページダウンできる。

このボタンにタッチするまたはスクリーンをダブルクリックすると、ファイルリストバーを隠す／表示になる。

## 18. ピクチャブラウジング機能の操作

メイン・インターフェースの にタッチすると、右図に示す[Photo Viewer]インターフェースにアクセスできる:

タッチメニューの定義:

フォルダーを開く。

イメージを中へ右回りに回転させる。

画像を縮小する。

スライドショー。

前のページ。

画像をズーム。

フルスクリーン。

次ページ。





12. NAVIボタン。
どのモードにあってもNaviの間は、まず常にGPSナビゲーションが聞こえ、ナビゲーションサウンドが流れた直後、サウンドは元のモードに戻る。
Naviモードの間、システムは、インターフェースを変更せずに自動的にサウンドを変更する。インターフェースおよびNaviインタフェースは、NAVIボタンを使用して変更できる。
このボタンを3秒押すと、DBAS機能がオンまたはオフになる。

13. DVD button

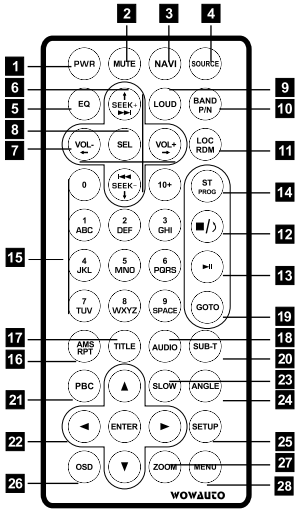
任意のモードでこのボタンを押すと、自動的にDVDディスクの読み込み状態に遷移し、DVDモードにアクセスできる。

14. リセットボタン。
このボタンを押すとユニットがリセットされ、ユニットが初期設定に戻る。

15. ディスクボタン。
このボタンを押すとディスクが後退する。

16. MIC入力。
Bluetooth MIC入力。

## 2.リモコン機能




| | |
|---|---|
| 1.電源ON/OFF | 15.0-10+ |
| 2.ミュート | 16.AMS/RPT |
| 3.NAVI | 17.タイトル |
| 4.SOURCE | 18.オーディオ |
| 5.EQ | 19.再生時間設定 |
| 6.SEEK+/SEEK- | 20.字幕 |
| 7.VOL+/VOL- | 21.PBC/MENU |
| 8.SEL | 22.UP/DOWN/L/R入力 |
| 9.LOUD | 23.SLOW |
| 10.BAND/P/N | 24.角度 |
| 11.LOC / RDM | 25.SET UP |
| 12.停止 | 26.OSD |
| 13.再生/一時停止 | 27.ズーム。 |
| 14.ST/PROG | 28.メニュー |

1. 電源
1度押すとスイッチが入り、再度押すとスイッチが切れる。

2. ミュートボタン
1度押すとオーディオ出力の電源が切れ、もう1度押すと音量レベルが再開される。

3. NAVIボタン
押すと、ナビゲーションを終了する。

4. SOURCEボタン
このボタンを押してオーディオソースを選択する。

5. EQ button
このボタンを押し、ROCK, CLASS、POP、JAZZ、HALL、CINEMA(STANDARD)を選択する。

6. SEEK+(⏭)/SEEK- (⏮)ボタン
このボタンを押すと、手動で素早く前の曲および次の曲に回転できる。

7. VOL +(→)/VOL. (←)
このボタンを押すと音量が上がるまたは下がる。

8. SELボタン(オプション)
このボタンを押すとサウンド機能が選択できる。

9. LOUDボタン(オプション)
このボタン通すとLOUD機能が開始される。

10. BAND/P/Nボタン
無線モードでこのボタンを押すと帯域を選択できる。VCD、DVDモードでこのボタンを押すと、AUTO、PALまたはNTSC TVシステムを選択できる。

11. LOC /RDMボタン。
無線モードでこのボタンを押すと、現在地と方向を切り替えることができる。VCD、CDモードでこのキーを押すと、ランダムに再生できる。

12. 停止ボタン。
このボタンを押すと再生が停止される。

13. 再生/一時停止ボタン。
このボタンを押すと、再生と一時停止の切り替えができる。停止モードでこのボタンを押すと再生できる。

14. ST/PROGボタン。
無線モードでこのボタンを押すと、ステレオまたはモノを選択できる。オーディオモードでは、STOPボタンでプログラム再生をすることができる。





## 15. ビデオプレーヤー機能の操作

メイン・インターフェースで にタッチすると、右図に示すインターフェースにアクセスできる:

タッチメニューの定義:

- 前のファイル。
- 次のファイル。
- 再生/一時停止。
- ボリュームボタン。
- 巻き戻し。
- 早送り。
- フルスクリーン。

## 16. ミュージックプレーヤー機能の操作

メイン・インターフェースで にタッチすると、右図に示す[Music player]インターフェースにアクセスできる:

タッチメニューの定義:

- 再生/一時停止。
- ランダム再生/連続再生。
- 前の曲。
- 次の曲。
- フォルダーを開く。
- クリア。
- 音量調節ボタン。
- ページアップ／ページダウン。

MP3、WMA形式のファイルを再生してください。

## 13. ブルートゥースのステレオ機能の操作

メイン・インターフェースで にタッチすると、下図に示す[Bluetooth Stereo]インターフェースにアクセスできる:

タッチメニューの定義:

再生/一時停止

次の曲

停止

前の曲

機能:
ユーザーは、この機能を通して携帯電話のオーディオファイルを操作できる。

操作方法:
BluetoothStereoインターフェースにアクセスした後、携帯プレーヤの[Play]ボタンを押して接続すると、インターフェースは「A2DP: 接続された、AVCRP: 接続された」と表示される。

1.接続に成功した後、携帯電話とホストが分離されるまで、再接続することなく再びこのインターフェースにアクセスしてこの機能を使用することができる。
2.この機能は、A2DP対応の携帯電話でのみ使用できる。

## 14. アイポッドの機能操作

下に表示されるように、最初にメイン・インターフェースのIPODを接続し、 をタッチして次のインターフェースに進む:

メニュー定義にタッチする:

Aの上

一時停止 /再生

巻戻し

停止

早送り

Aの下

再生の順序

シャッフル

15. 0-10 +ボタン。
このボタンを押すと、希望の曲やセクション、プリセットが選択できる。
*2桁の場合、例えば19番目の曲は、1、9とボタンを押す。
*3桁の場合、例えば120番目の曲は、1、2、0とボタンを押す。

16. AMS /RPTボタン。
無線モードでこのボタンを押すと、保存した局をブラウズできる。オーディオモードでこのボタンを押すと、繰り返し再生できる。

17. タイトルボタン。
DVDモードでこのボタンを押すと、ディスクのトップメニューに戻って再生される。

18. オーディオボタン。
DVDモードでこのボタンを押すと、対話言語の切り替えが行えます。モードディスクでこのボタンを押すと、左トラック、右トラック、ステレオが選択できる。

19. SET 再生時間。
DVDモードでこのボタンを押すと、再生時間を定義することができる。

20. 字幕ボタン。
DVDモードでこのボタンを押すと、字幕言語が切り替えられる。

21. PBCボタン。
モードディスクでこのボタンを押すと、すべての曲のメニューが表示され、番号ボタンで操作して曲が選択できる。

22. UP, DOWN, LEFT, RIGHT, ENTERボタン。
DVDモードでこのボタンを押すと、カーソルが上、下、左、右に移動し、メニューからアイテムを選択することができる。enterボタンを押すと、選択が確定される。

23. スローボタン。
オーディオモードでこのボタンを押すと、スローで巻き戻し、早送りができる。

24. 角度ボタン。
DVDモードでこのボタンを押すと、演奏角度を変更できる。

25. セットアップボタン。
オーディオ・モードでこのボタンを押すと、異なるセット・アイテムを選択できる。

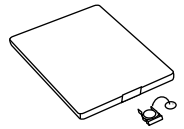
26. OSD表示。
このボタンを押すと、チャプターのタイトルおよび残り時間を表示できる。

27. ズームボタン。
DVD/VCDモードでこのボタンを押すと拡大される。

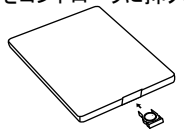
28. メニューボタン。
ボタンを押すとメインメニューに戻る。

電池交換。
リモコンの操作距離がより短く、あるいは機能しない場合は電池を交換してください。交換前に+と-を確かめてください。
片方の手でストッパを押し、次に電池を抜いてください。

電池をコントローラに入れてください。



電池ホルダーをコントローラに挿入してください。



## 3. メインメニューのタッチ操作

下図に示すように、ボタンを押すと電源が入り、メイン・インターフェイスにアクセスできる。タッチ・ペンまたは指でスクリーン左側に印を付けて別のページのメイン・インターフェースにアクセスにする。
インターフェース・ショートカットキーをリセットするには、タッチペンまたは指で、メイン・インターフェイスアイコンをスクリーン下部のショートカット・キーバーまでドラッグする。

注意：1)このデバイスにはディスクボックス/IPODの機能はない。
2)4つのショートカット・キーのみが設定でき、新しいアイコンは古いものに交換できる。

マッチング記録。
携帯電話およびブルートゥースの接続が完了した後、[マッチング記録]インターフェースで対応する表示が表れる。

接続ボタン。
ボタンの接続を切る。
マッチング記録ボタンクリア。

発信者の識別。
電話がかかってくると、システムは自動的に任意のモードでブルートゥースのハンズフリー機能インターフェースに切り替わり、話者の音声および発信者番号が表示され通知される。

電話帳。
右のインターフェースに示されるように、電話帳の電話番号を探し、番号をダイヤルすることができる:

選択番号をダイヤルします。
携帯電話に保存された番号を読み込みます。
電話メモリーカードに保存した番号を読み込みます。
更新。

応答/呼び出し。
電話がかかってきたら、 をタッチすると応答でき、 をタッチすると呼び出しを拒否できる。

このボタンをタッチするとナンバーキーパッドが開きます。
ダイヤル。 電話終了。
このボタンにタッチすると、車両スピーカーフォンと携帯電話間の音声出力端子が切り替わります。
このボタンにタッチすると、マイクの音声が開/閉します。
このボタンにタッチすると、音量が下がります。
このボタンにタッチすると、音量が上がります。

設定。
以下に示されるように、お好みに応じてBluetooth名およびPINコードをセットすることができる。
このボタンをタッチするとナンバーキーパッドが開きます。
「自動応答」を設定できる。

注意： システムは既に恒久的に「ブルートゥースがオン」に設定されていますので、「ブルートゥースをオン」にし続けるかどうかは、選択できない。

## 12. Bluetooth機能の操作

ブルートゥースにアクセス。
以下の図に示されるように、 メインインターフェイスにタッチすると、ブルートゥース・インターフェースにアクセスできる:
ブルートゥースがうまく接続された後、任意のモードの をタッチすると、システムがブルートゥースのモードににアクセスできる。

マッチング機能。
ブルートゥースのハンズフリー機能を使用するためには、まず接続してホストとブルートゥース携帯電話とを接続する必要がある。

操作方法:
Bluetooth状態に携帯電話を設定する。携帯電話を操作してデバイスを探索する。携帯電話がBluetooth機器を探索した後、一致するパスワードを入力するように促す。確認のためのブルートゥースパスワード入力。携帯電話がデバイスを許可するかどうか促したら、[Yes]を選択してください。携帯電話は、20秒で自動的にこのブルートゥースと接続される。任意の動作モードで着信がある場合、デバイスは、現在の状態をBluetooth状態に切り替えます。デバイスは、電話を切った後、現在のモードに復元される。

注意: ブルートゥースが正しくこのデバイスに接続されると、接続状態には が表示され、または が表示される。

電話をかける。
携帯電話から直接ダイヤル、あるいは番号ボタンを使用して電話番号入力することがきる。誤った番号を入力した場合は をクリックして削除することができる。
電話番号が入力された後、 をクリックして電話をかける。
再ダイヤルするには にタッチする。
音声会話の間、 をクリックすると車両用スピーカーフォンと携帯電話の音声とを切り替えることができる。

## 4. 機能の操作を設定する

ナビゲーション設定。
ナビゲーションカードを挿入します。ナビゲーション設定インターフェースで アイコンをタッチすると、以下のナビゲーション設定インターフェースにアクセスできる:
(1) をタッチして所望のナビゲーション・パスを選択し、 [OK]をクリックし、ボタンをタッチして[ナビゲーション設定を終了します。システムは、同時にナビゲーション・インターフェースに戻り、メイン・インターフェイスで をクリックするとナビゲーションにアクセスできる。
(2)[Hand break]を選択してビデオを見ると、「注意。運転中は見ないでください」というメッセージがすぐに現れる。
注意: マップは使用前に更新する必要があることがある。更新のためマップカードをサービスセンターに送付してください。

GPSモニター。
[設定]インターフェースで アイコンをタッチすると、右図に示すインターフェースにアクセスできる:インターフェースにはすべての衛星に対する信号強度が表示される。
をタッチして信号を再テストできる。

言語。
右図に示されるように、設定インターフェースで アイコンをタッチすると、言語設定インターフェースにアクセスできる:
:スクロール・バーを前後に。

音量。
設定インタフェースで アイコンをタッチすると、右図に示すインターフェースにアクセスできる:
をタッチするとデフォルトの音量を上げる／下げることができる。ブザー: [ブザー]をクリックしてキー音を開き、動作音にタッチしてください。

時間。
設定インターフェースで アイコンをタッチすると時間設定インターフェースにアクセスできる:
時間を設定することができる。 をタッチして時間(HR)と分(MIN)を設定し、OK をタッチすると設定が保存される。
ボタンをタッチするとタイムゾーンを選択できる。
以下のインターフェースで日を設定しおよびカレンダーをサーチできる。

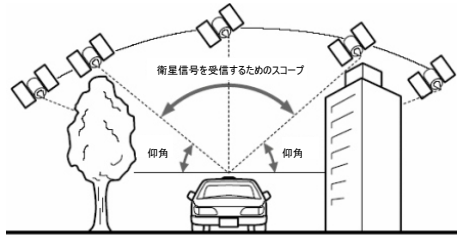
バックライト。
設定インターフェースで アイコンにタッチするとスクリーンの明るさを調節できる。 ボタンをクリック、または をドラッグしてバックライトの明るさを調整できる。

パワーアンプ。
設定インターフェースで アイコンをタッチすると、右図に示すアンプ・インタフェースにアクセスできる。:
(1) は単独でスピーカーチャンネルを調整する。
(2) ボタンをタッチ、あるいは をドラッグすると、高音部、ベース、アルト、メガバスの音量を調節できる。
(3) をタッチして以下のモードから選択できる:講堂、スタンダード、ロック、クラシック、ポピュラー、ジャズ、劇場。
(4)インタフェースに切り替え、パワーアンプの左上角にある ボタンをタッチすると、右図に示すインターフェースに切り替わり、 をタッチするとすべての機能についての増減を調整できる。
(5)インターフェースの左上角の ボタンをタッチすると、前のアンプ・インターフェースに切り替わる。

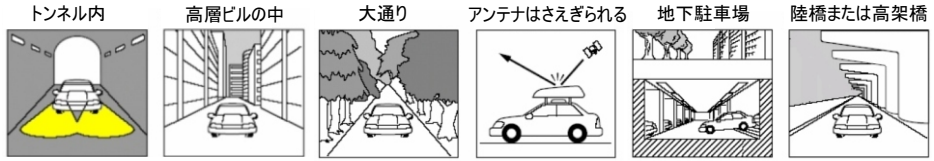
## 11. ナビゲーション機能の操作

ナビゲーションにアクセスする。
ナビゲーションシステムにアクセスする方法の手順:
1)GPS/MAPカード・スロットに地図カードを挿入します。メイン・インターフェースで をタッチすると設定インターフェースにアクセスできる。
2)設定インターフェースで をタッチすると、システムは、ナビゲーション設定インターフェースにアクセスできる。
3)ナビゲーションインタフェースで をタッチして地図ソフトの場所を選択します。OKをタッチすると、システムはナビゲーションインタフェースに戻る。
4)ナビゲーション設定インターフェースで をタッチすると、メイン・インターフェイスに戻る。また、アイコン にタッチしてもメイン・インターフェースに戻る。
5)メイン・インターフェイスで にタッチするとナビゲーション・インタフェースにアクセスできる。

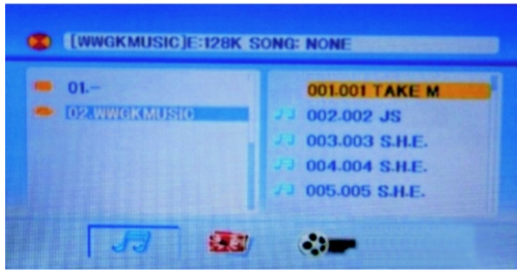
衛星受信。
ナビゲーションシステムは、8つの衛星信号を受け続けることができる。通則としてナビゲーションシステムは、3-4個の衛星信号受信の後、自分の正確な位置を割り出すことができる。しかし下図に示されるように、天候や都市部の高い建物が信号受信結果に影響を及ぼすことがある:




受信信号誤差。
正常に衛星信号を受信できる時、標準のGPSの誤差は、約7メートルであるものとする。並行するセクションを運転中は、製品が自動補正機能を有していてもエラーが発生します。衛星信号の正常受信が影響を与えて、以下の環境でエラー発生の原因となる。



## 10. MP3/USB/SDカード操作




MP3形式でファイルを再生するためのMP3ディスク/TFカード/Uディスクを挿入する時は、下図に示すようにスクリーンにMP3形式のピクチャが表示される。所望のMP3トラックを選択するために、トラック番号を直接クリックするか、リモコンを使用してインターフェース上の ◂✣▸ 方向ボタンをタッチして、カーソルを動かす。ディスクにイメージファイルおよびビデオファイルがある場合、スクリーン上の対応するアイコンをクリックすると直接再生できる。MP4ファイルを再生しているときに をタッチしてMP4形式のピクチャにアクセスすると、直接クリックまたはリモコンを使用して ◂✣▸ 方向ボタンをタッチすると、所望のMP4トラックを選択できる。
注意：リモコンの □/↖ ストップボタンを押すと、戻ってピクチャを再生できる。

一時停止。
再生モードでリモコンの ▶II ボタンを押すと、デバイスは一時停止し、その後 ▶II ボタンを軽く押すと一時停止を取り消し、通常再生に戻る。

前のトラック/次のトラックの再生。
再正モードで、リモコンのSEEK−/SEEK+ボタンを押すか、あるいはスクリーンの[Previous]/[Next]をタッチすると、前のトラック／次のトラックにスキップする。

再生モードでリモコンの ▶▶I /I◀◀ ボタンを長押しすると早送りまたは巻戻し再生が行われ、このボタンを押すと常に、早送り／巻き戻しの速度を以下の順序で変更される。
X2→X4→X8→X20→再生
└──────────┘
注意：また、スクリーンの[早送り]あるいは[巻戻し]をタッチすることによっても、この機能を達成できる。

リピート再生。
再正モードでリモコンのAMS/RPTボタンを押すと、以下のリピート機能が開始される。
1曲繰り返し→すべて繰り返し→繰り返し、再生OFF。
└──────────────────┘
注意:また、スクリーンの[Repeat] ボタンにタッチすることによっても、この機能を達成できる。





リヤシートのヘッドレストスクリーン
設定インターフェースで をタッチすると、リヤシート・ヘッドレスト・スクリーン・インターフェースにアクセスでき、この機能でリヤシート・ヘッドレスト・スクリーンの明るさ、色、サイズおよび位置を調節することができるが、この装置のスクリーンでは動作しない。

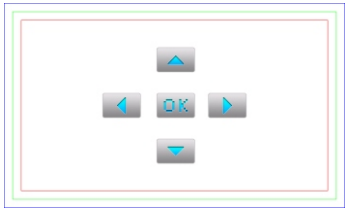
リヤシート・ヘッドレストスクリーン・インターフェースの をタッチすると、以下の図に示される明るさ・色のインターフェースにアクセスできる:

(1) ボタンをタッチすると、輝度、色彩コントラストおよびサチュレーションを調整できる。
(2) ボタンをタッチすると初期設定値に戻る。

リヤシート・ヘッドレスト・スクリーン・インターフェースのをタッチすると、スクリーンサイズ調整の インターフェースにアクセスできる:

(1) ボタンをタッチすると、スクリーンの水平方向のサイズおよび垂直サイズを調整できる。

リヤシート・ヘッドレスト・スクリーン・インターフェースの をタッチすると、右図に示されるインターフェースにアクセスできる:
画面の位置を調整するタッチ ボタンをタッチするとスクリーン位置を調整でき、 ボタンをタッチすると設定を保存できる。




ピクチャを開く。
設定インタフェースの をタッチすると、右図に示すインターフェースにアクセスできる:
(1) ボタンをタッチすると、カードの中のピクチャを更新できる。
(2) ボタンをタッチすると前のピクチャに戻る。
(3) ボタンをタッチすると次のピクチャにアクセスできる。
(4) ボタンをタッチすると、選択画像を開始画像として設定できる。
(5) ボタンをタッチすると全画面表示でピクチャを閲覧できる。

## 5. ラジオ機能の説明

メイン・インターフェースの をタッチすると、下図に示すインターフェースにアクセスできる:
前に保存したラジオ局の操作:
受信する時に、各周波数帯で6つのラジオ局を事前に保存できる。保存したラジオ局の周波数は、スクリーンに表示され、周波数を直接タッチすると受信できる。オレンジは、現在のラジオ局の周波数を表している。

AM1, AM2, FM1, FM2, FM3 : 電波帯域選択。
このボタンをタッチすると、ラジオ局の周波数を降順に／昇順にスキャンできる。
このボタンを押すと、手動で上方／下方への微調整が選択できる。
このボタンを軽く押すと、登録した放送局を閲覧できる。このボタンを長押しすると、放送局を自動検索し、最も強い信号を有する放送局をスクリーン上部に保存する。

AMS :選択された周波帯で2秒以上このボタンを押すと、システムは周波数範囲の中で最も低い周波数から上に向かって放送局を検索し、検索した放送局を順番に事前保存した位置に保存する。適切な順序で放送局を事前に設定するには、このボタンを5秒以上押す。このボタンを長押しすると放送局をスキャンする。

PTY:このボタンをタッチするとプログラムの種類がスクリーンの下部に現れ、ユーザはそのプログラムの種類に従って放送局を検索できる。

ST:このボタンをタッチするとSTモードの開／閉を選択できる。

TA :このボタンをタッチするとTAモード開／閉を選択できる。TAを開く時、装置は自動的にRDSステーションを追跡する。

AF :このボタンをタッチするとAFモードの開／閉を選択できる。

LOC このボタンをタッチすると距離の長短の制御を選択できる。

注意：Fm周波帯が選択されている場合にこの機能が動作する。

マシンがRDS機能を有さない場合、AF/TA/PTY機能を有さず、関連のアイコンはグレーにが表示される。





トラック選択。
再生モードの場合、リモコンの1～9の数字本を直接押すと、任意のトラック番号を選択でき、その選択された番号に従って自動的にデバイスで再生できる リモコンの数字ボタン、10＋および0-9を押下することによって、10トラック以上選択できる。
注意：リモコンの数字ボタン、10＋を1回押すと、10トラック以上選択でき、10＋を2度以上押すと20トラック以上を選択でき、順に以下同様である。また、スクリーンの数字ボタンを押すことによっても、この機能を達成できる。

## 9. CD機能の操作

ディスクの再生。

スロットをロードするスロットにCDディスクを挿入すると、ディスクは自動再生される。デバイスにディスクがある場合に再生モードにアクセスするには、メインメニューのDCDアイコンをタッチする。

前のトラック/次のトラックの再生。

再正モードで、リモコンのSEEK-/SEEK+ボタンを押すか、あるいはスクリーンの[Previous]/[Next]をタッチすると、前のトラック／次のトラックにスキップする。

早送り/巻き戻し。

再生モードでリモコンの ▶▶| |◀◀ ボタンを押すと、早送りまたは巻戻し再生ができる。このボタンを押すと常に早送り・巻戻しの速度が、以下の順序で変更される:

X2→X4→X8→X20 →再生

注意：また、スクリーンの[早送り]あるいは[巻戻し]をタッチすることによっても、この機能を達成できる。

リピート再生。

再正モードでリモコンのAMS/RPTボタンを押すと、以下のリピート機能が開始される。

1曲繰り返し→すべて繰り返し→繰り返し、再生OFF。

注意： また、スクリーンの[Repeat] ボタンにタッチすることによっても、この機能を達成できる。

ランダム再生。

CD 再生モードでリモコンのRDMボタンを押すと、デバイスは任意のトラックをランダムに再生し、RDMボタンを再度押すと通常再生モードに戻る。

一時停止。

再生モードでリモコンの ▶II ボタンを押すと、デバイスは一時停止し、その後▶IIボタンを軽く押すと一時停止を取り消し、通常再生に戻る。

注意： また、スクリーンで対応するボタンをタッチによっても、この機能を達成できる。

再生停止。

CD 再生モードでリモコンの ■/〉ボタンを1度押すとプレストップ状態にアクセスでき、リモコンの ▶II ボタンを押すと現在再生されている曲が再生され続けます。リモコンの ■/〉ボタンを連続して2度押すと完全停止状態にアクセスでき、その時に再生ボタンを押すことによってディスクの最初のトラックが再生される。

注意： また、スクリーンで対応するボタンをタッチことによっても、この機能を達成できる。

表示。

再生モードでリモコンのOSDボタンを押すと現在のディスクの再生されているすべての情報が表示される。

注意： また、スクリーンの[Screen]ボタンを押すことによっても、この機能を達成できる。





## 6. ディスクのタッチ操作

タッチ操作へのアクセス。

ディスク再生モードでスクリーン中央をタッチすると、機能メニューが表示されるが、右図に示すように、3秒後に自動的に消えます:

タッチメニュー機能の操作。

UP/DOWN/LEFT/RIGHT方向ボタン, ENTERボタン。

表示・非表示機能ボタン。

前/次へ。

巻き戻し/早送り。

再生/一時停止。

ボリュームボタン。

停止。

数字ボタンon/off。

Settings ボタンを押すと設定メニューおよびサブメニューに進む。

R/L 左/右チャンネルスイッチ。

いったん、このボタンを1度タッチするとディスクが取り出せます。2度タッチするとディスクは再び読み込まれる。

OSD OSD(表示タイトル、チャプタ、playtimeosd、残り時間)。

ANGLE (角度):アングルの切り替え選択。

SUB_T 字幕言語の切り替え選択。

MENU タイトルメニュー(DVDディスクのTopメニュー)にアクセス。

REPEAT 繰り返し再生機能を選択。

GOTO 再生トラック(UP/DOWN/LEFT/RIGHT方向のボタンおよび数字ボタンで調整)。

PIP picture-in-pictureモードでビデオスクリーン上部を押すとピクチャがランダムに移動し、ピクチャサイズを個々の好みに合わせて調整できる。

このボタンにタッチすると(パワーアンプ)インターフェースにアクセスできる。

1. VCDディスクを再生しているときにPBCがオンの場合は、リピート再生機能はない。
2. PBC機能はVCDディスクにのみ適用される。
3. PBC機能は、再生コントロールメモリ機能で幾つかのVCDディスクに適用できる。
4. PBCがオンの時、スロー再生、早送り再生、AMS早送り／巻き戻しが選択可能であり、ランダム再生、リピート機能およびデジタルの曲選択機能は無効になる。
5. PBCがオンの時、スキャン再生を選択し、PBC機能は、検索および再生後自動的にクローズする。

## 7. DVD機能の操作

DVD再生。
DVDディスクをディスクロードスロットに挿入するとディスクが自動的に再生される。デバイスにディスクがある場合再生モードにアクセスするためには、メインメニューのDVDアイコンを直接タッチする。

前のトラック/次のトラックの再生。
再正モードで、リモコンのSEEK−/SEEK+ボタンを押すか、あるいはスクリーンの[Previous]/[Next]をタッチすると、前のトラック／次のトラックにスキップする。

リピート再生。
再正モードでリモコンのAMS/RPTボタンを押すと、以下のリピート機能が開始される。
1曲繰り返し→すべて繰り返し→繰り返し、再生OFF。
注意：また、スクリーンの[Repeat] ボタンにタッチすることによっても、この機能を達成できる。

トラック選択。
再生モードの場合、リモコンの1～9の数字本を直接押すと、任意のトラック番号を選択でき、その選択された番号に従って自動的にデバイスで再生できる 番号ボタンを押すことによって10トラック以上を選択できる。

リモコンの10+ 、0−9。
注意：リモコンの数字ボタン、10＋を1回押すと、10トラック以上選択でき、10＋を2度以上押すと20トラック以上を選択でき、順に以下同様である。スクリーンの数字ボタンを押すことによって、この機能を達成できる。

一時停止。
再正モードでリモコンの ▶II ボタンを押すと、デバイスじは一時停止し、▶II ボタンを軽く押すと一時停止が解除され、再生に戻る。
注意：この機能は、またスクリーンで対応するボタンをタッチすることでも動作する。

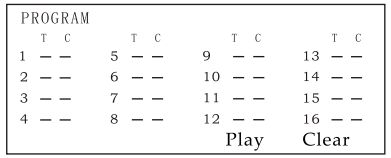
再生停止。
DVD再生モードでリモートにある ■/〉ボタンを1回押すとプリストップ状態にアクセスでき、リモコンの ▶II ボタンを押すと現在再生されている曲を再生し続けることができる。連続で ■/〉ボタンを2度押すと、完全な停止状態にアクセスでき、その時に再生ボタンを押すことによって、ディスクの最初の曲を再生し始める。
注意：この機能は、またスクリーンで対応するボタンをタッチすることでも作動する。





メニュ再生。
再正モードでリモコンのPBCボタンを押すとPBC機能が示され、スクリーンにディスクのすべての曲が表示される。また、数字ボタンを使用することによって所望の曲を選ぶこともできる。PBCの任意の曲を再生している時にその他の曲を再生・停止するために、PBCを閉じることができる。
注意：1. リモコンによって、この機能を達成できる。
2. PBC再生は、VCD 2.0バージョンおよびVCDディスクのみに対応している。
3. PBC再生の間、トラック選択、リピート再生およびランダム再生は機能しません。

プログラム再生。
VCDモードでは、プログラム再生機能によって順番に所望のトラックを選択することができる。リモコンのPROGボタンを押すと、プログラム編集メニューは、下図に示すようにスクリーンに表示される:




最初の歌をプログラムするためには所望のトラック番号を押してプログラムする。例えば、4番目の曲をプログラムするにはリモコンの4のボタンを押す。次の曲をプログラムするには、▼を押してカーソルを2−−に移動させて、プログラムしたいトラック番号を入力する。例えば、8番目の曲をプログラムするにはリモコンの8のボタンを押し、以下同様である。番組を再生するには、▶II ボタンを押してください。通常の再生モードに戻るためには、ST/PROGボタンを押して、カーソルを [Clear]ボタン、ENTERボタンに移動させて、[Play] ボタンを押す。
注意：この機能は、リモコンでも利用できる。

システムの切替。
再生の間、リモコンのBAND/P/Nのボタンを押すと、システムは以下の順序に従って切り替わる:
自動→ NTSC → PAL

スロー再生。
再生の間スロー再生にアクセスするために、リモコンのSLOWボタンを押す。再生速度は、以下の順序になる:
SLOW 1/2→SLOW 1/3→「SLOW 1/4→SLOW 1/5→SLOW1/6→SLOW1/7→PLAY

画像サイズの拡大／縮小。
再生の間イメージを縮小／拡大するには、リモコンのZOOMボタンを押します。イメージサイズは以下の順序になる:
ZOOM 2→ZOOM 3→ZOOM 4→ZOOM 1/2→ZOOM 1/3→ZOOM1/4(→ZOOM OFF)

注意:1)また、スクリーンの[Zoom]ボタンを押すことによっても、この機能を達成できる。
2)拡大イメージは、up/down/left/rightカーソルによって移動できる。
3)縮小画像は移動できない。

表示。
再正モードでリモコンのOSDボタンを押すと現在のディスクの再生されているすべての上方が表示される。
注意: この機能は、スクリーンの[Screen]ボタンをタッチするだけで使用できる。トラック選択。
再生モードの場合、リモコンの1～9の数字本を直接押すと、任意のトラック番号を選択でき、その選択された番号に従って自動的にデバイスで再生できる。番号ボタンを押すことによって10トラック以上を選択できる。

リモコンの10+ 、0-9。
注意: リモコンの数字ボタン、10＋を1度押すと、10トラック以上を選択でき、10+を2回押すと20トラック以上を選択でき、以下同様である。また、スクリーンの数字ボタンを押すことによっても、この機能を達成できる。

チャンネル切替。
再生モードディスクで以下の順序でチャネルを切り替えるためには、AUDIOボタンを繰り返し押す。また、スクリーンの[AUDIO] ボタンを押すことによっても、この機能を達成できる。
Left channel→Right channel→Mixed channel→Stereo





早送り/巻き戻し。
再生モードでリモコンの⏭ ⏮ ボタンを長押しすると、早送りまたはも巻戻し再生され、このボタンを押すと常に、早送り／巻戻しの速度は以下の順序になる:
X2 → X4 → X8 → X20
再生
注意: この機能は、またスクリーンの[fast-forward] または[fast-backward] ボタンを押すことで作動する。

システムの切替。
再生の間、リモコンのBAND/P/Nのボタンを押すと、システムは以下のシーケンスに従って切り替わる
自動→ NTSC →PAL

注意: この機能は、またスクリーンで対応するボタンをタッチすることでも作動する。

スロー再生。
再生の間スロー再生にアクセスするために、リモコンのSLOWボタンを押す。再生速度は、以下の順序になる:
SLOW1/2→SLOW 1/3→SLOW 1/4→SLOW 1/5、→.SLOW1/6→SLOW 1/7→PLAY

画像サイズの拡大／縮小。
再生の間イメージを縮小／拡大するには、リモコンのZOOMボタンを押す。イメージサイズは以下の順序になる:
ズーム。2 →ズーム。3→ ズーム。4 →ズーム。1/2→ズーム。1/3→ズーム。1/4 →ズーム。OFF.

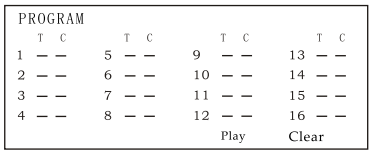
注意:1)拡大イメージは、up/down/left/rightカーソルによって移動できる。
2)縮小画像は移動できない。

表示。
再正モードでリモコンのOSDボタンを押すと現在のディスクの再生されているすべての上方が表示される。
注意:この機能は、またスクリーンの[Screen] ボタンを押すことでも作動する。

メニュー選択。
再正モードでリモコンのPBCボタンを押すと、ディスクのメイン・メニューに戻り、スクリーンにはディスクのすべてのチャプタを表示する。また、リモコンの方向のボタンおよび数字ボタンで所望のチャプタを選択でき、再生ボタンまたはenterボタンを押すと選択したチャプタを再生できる。

タイトル選択。
DVD再生モードでリモコンのTITLEボタンを押すと、ディスクのタイトルメニューに戻る。displayerは、ディスクのすべてのタイトルを表示する。また、リモコンの方向のボタンおよび数字ボタンで所望のチャプタを選択でき、リモコンのENTERボタンまたはPLAYボタンを押すと選択したチャプタを再生できる。
注意:この機能は、リモコンによってだけでなくディスクのタッチ操作を使用しも実現できる。

プログラム再生。
DVDモードでは、所望の曲を選択するとプログラム再生機能によって順に再生され、リモコンのPROGボタンを押すと、下図に示すように、プログラム編集メニューがスクリーンに表示される:




この瞬間、リモコンの方向ボタンと連動する番号ボタンによってプログラムされるべきタイトルおよびチャプタの数を入力すると、カーソルの移動で再生でき、リモコンのENTERボタンを押すと、デバイスが編集した順番で曲を再生する。

再生中のビューアングル変更(マルチアングル)。
マルチアングルで記録されたDVDディスク(多数の角度から撮られた写真)については、再生中にリモコンのANGLEボタンを押してビューアングルを切り替える。順序に従って項目を設定してください:
ANGLEボタン 1→ANGLE 2→ANGLE 3

注意:1)スクリーンの[ANGLE]ボタンを押すことによってこの機能を達成できる。
2)この機能は、マルチアングルピクチャで記録したDVDディスクでのみ利用できる。
3)DVDディスクスリーブの は、DVDがマルチアングルシーンで記録されたことを示している。である数は、撮影角度量を表示している。

再生中(マルチトーン)の対話言語切り替え。
DVDオーディオ再生は、異なる対話言語およびすべての種類のオーディオシステムを含むことができる。DVDディスクがマルチトーンの記録を有する場合、再生の間、対話言語およびオーディオシステムを切り替えることができる。再生中AUDIOボタンを繰り返し押すと、対話言語を変更することができる。
注意:1. この機能は、マルチトーンで録音したDVDディスクでのみ利用できる。
2. DVDディスクスリーブのマーク、番号"2"は、対話言語/オーディオシステムの量を表示している。

再生(マルチ字幕)の間の字幕言語変更。
マルチ字幕で録画したDVDディスクについては、再生の間、字幕言語を切り替えることができる。字幕言語を切り替えるためには、再生中にリモコンのSUB-Tボタンを繰り返し押してください。
注意:1. この機能は、スクリーンの[Subtitle]ボタンをタッチすることよって達成できる。
2. この機能は、マルチ字幕で録画したDVDディスクでのみ利用できる。
3. DVDディスクスリーブのマーク、番号"2"は、字幕言語の数を表示している。

DVDセットアップメニュー[SETUP]
リモコンのSETUPボタンを押すと、スクリーンのシステム設定メニューおよびそのサブメニューが画面に表示される。リモコンの◂▴▸ボタンを使用してその時の所望のアイテムを選択することができ、適切なアイテムが選択された後は、確認のためにリモコンのENTERボタンを押す。
注意: 1. 異なるモデルまたはディスク形式のため、一部の機能に関する設定は異なる可能性がある。
2. 選択した言語がDVDディスクに記録されない場合、指定の言語が表示される。





## 8. VCD/MPEG-4 機能の操作

ディスクの再生。
ディスクロードスロットにVCD/MPEG-4ディスクを挿入する。デバイスにディスクがある場合に再生モードにアクセスするためには、メインメニューのVCDアイコンにタッチしてください。

前のトラック/次のトラックの再生。
再正モードで、リモコンのSEEK-/SEEK+ボタンを押すか、あるいはスクリーンの[Previous]/[Next]をタッチすると、前のトラック/次のトラックにスキップする。

早送り/巻き戻し。
再生モード中、リモコンのボタンを長押しすると、早送りまたは巻き戻し再生される。このボタンを押すと常に、以下の順序で早送り・巻き戻し速度が変更される: X2 → X4 → X8 → X20→再生

注意: また、スクリーンの[fast-forward] [fast-backward] ボタンを押すことによっても、この機能は達成できる。

リピート再生。
再正モードでリモコンのAMS/RPTボタンを押すと、以下のリピート機能が開始される。
1曲繰り返し→すべて繰り返し→繰り返し→再生OFF。

注意:1)VCD再生中にPBCがオフになっている場合にその機能は達成できる。
2)また、スクリーンの[Repeat] ボタンにタッチすることによっても、この機能を達成できる。

ランダム再生。
VCD再生モードでは、リモコンのRDMボタンを押すと、デバイスで任意の曲を選択してランダムに再生でき、RDMボタンを再度押すと通常再生モードに戻る。
注意: VCD再生中にPBCがオフの場合のみ、この機能を達成できる。

一時停止。
再正モードでリモコンの ⏯ ボタンを押すと、デバイスは一時停止し、⏯ ボタンを軽く押すと一時停止が解除され、再生に戻る。
注意: また、スクリーンで対応するボタンをタッチことによっても、この機能を達成できる。

再生停止。
VCD再生モードでリモコンの ■/〉 ボタンを1度押すとプリストップ状態にアクセスでき、その時にリモコンの ⏯ ボタンを押すとその曲が再生され続ける。連続で■/〉ボタンを2度押すと、完全な停止状態にアクセスでき、その時に再生ボタンを押すことによって、ディスクの最初の曲を再生し始める。
注意:また、スクリーンで対応するボタンをタッチことによっても、この機能を達成できる。